

普及してきた自然素材

●内装などにも積極的に利用を

自然素材の良さが改めて見直され、さまざまな形で住まいづくりに採り入れられています。その代表例を紹介してみよう。

まず、室内で最も大きな面積を占める壁についてです。これまでのクロス貼りに代わって注目されているのが珪藻土の塗り壁です。珪藻土とは、植物プランクトンが1〜2千万年という長い間に堆積し、化石化した土です。火に強いうえ、無数に存在する超微細な孔が、調湿、消臭、空気清浄などに優れた機能を発揮します。フローリングや腰壁についても、天然ムク材の使用が増えています。化粧合板に比べて化学物質を放散しないこと、傷がついてもメンテナンスがしやすいことといったメリットが認められ、多少建築費が高くなっても採用されているようです。

また、青森ヒバといった抗菌・防虫効果の高い木材を

浴室やトイレなどに使用することで、腐朽や蟻害を抑え、清潔に保つ効果も期待できます。

●注目されている木炭の効用

このところ生活のさまざまなシーンで木炭の効用が取りざたされていますが、住まいづくりへの利用も始まっています。もともと大量に木炭を使うのが、主に床下の湿気対策です。床下一面に敷き詰めて湿気を吸い込ませ、床下を適度な乾燥状態に保ちます。

内部に木炭の粉末を封入した畳、木炭入り床用シートなども登場。これらすべては、木炭の調湿・消臭・空気清浄などの機能を手軽に活用しようと工夫されたものです。ただし、木炭も珪藻土も、それらの吸湿性能や化学物質の吸着状態には限度があります。冷蔵庫の消臭剤が使っていると効き目が無くなるように、これらの材料も放湿や脱着を適度に行わなければ、その効き目は無くなります。

壁の仕上げ	伝統的な土壁、珪藻土の塗り壁、ビニールクロスに代わる和紙、ムク材の腰壁
天井の仕上げ	ムク材、和紙
床の仕上げ	ムク材のフローリング、コルクタイル、ココナッツのカーペット、テラコッタタイル、石板

●個性的な自然素材

塗料 — 柿渋や漆などの昔ながらの自然素材のほかに、亜麻の花の種から抽出したオイルを原料とした亜麻仁油、オレンジの皮（シトラル）を用いた塗料などがある。色の種類が豊富なには驚かされる。

調湿セラミック — 珪藻土を焼いて作った室内の壁材。

クリスタルクレイ — 酒びんをリサイクルした床材。

コルクタイル — コルク樹の樹脂を粒状にして30cm角などに圧縮成型した床材。断熱性、弾力性がある。浸水性はないので汚れが沁み込まない。

リノリウム — 主として床材。滅菌効果がある。

